

科 目 名	森林科学	単 位 数	2 単位	学科・学年	森林総合 科 1 年																																												
使用教科書	森林科学（文部科学省）			副教材等	伐木造材作業者必携																																												
学 習 目 標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、森林の構造や機能並びに保全技術などを科学的に捉えるために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 森林科学について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 森林科学に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 森林を科学的に捉えるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。																																																
学 習 評 価	○ 次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまり(定期考査までを学習のひとまとまり)ごとに下の 評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括する。 <table><tr><td>①知識・技術</td><td colspan="5">森林と樹木、森林生態系の構造と多面的機能について理解するとともに、関連する技術を身に付けようとしている。</td></tr><tr><td>②思考・判断・表現</td><td colspan="5">森林と樹木、森林生態系の構造と多面的機能に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。</td></tr><tr><td>③主体的に学習に取り組む態度</td><td colspan="5">森林と樹木、森林生態系の構造と多面的機能について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</td></tr><tr><td rowspan="5"></td><td>評価方法\観点</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td></td></tr><tr><td>学習状況観察</td><td>◎</td><td>—</td><td>◎</td><td></td></tr><tr><td>ノート・配付プリント</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>樹木標本</td><td>—</td><td>◎</td><td>◎</td><td></td></tr><tr><td>ペーパーテスト</td><td>—</td><td>○</td><td>○</td><td>確認テスト・定期考査</td></tr></table> ※表中の◎は観点の中でより重視するところです。					①知識・技術	森林と樹木、森林生態系の構造と多面的機能について理解するとともに、関連する技術を身に付けようとしている。					②思考・判断・表現	森林と樹木、森林生態系の構造と多面的機能に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。					③主体的に学習に取り組む態度	森林と樹木、森林生態系の構造と多面的機能について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。						評価方法\観点	①	②	③		学習状況観察	◎	—	◎		ノート・配付プリント	○	○	○		樹木標本	—	◎	◎		ペーパーテスト	—	○	○	確認テスト・定期考査
①知識・技術	森林と樹木、森林生態系の構造と多面的機能について理解するとともに、関連する技術を身に付けようとしている。																																																
②思考・判断・表現	森林と樹木、森林生態系の構造と多面的機能に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。																																																
③主体的に学習に取り組む態度	森林と樹木、森林生態系の構造と多面的機能について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。																																																
	評価方法\観点	①	②	③																																													
	学習状況観察	◎	—	◎																																													
	ノート・配付プリント	○	○	○																																													
	樹木標本	—	◎	◎																																													
	ペーパーテスト	—	○	○	確認テスト・定期考査																																												
履 修 上 の 注 意	森林総合科の1年生全員が履修する科目です。 チェーンソー作業の安全ナビ(伐木造材作業者)を副教材として購入します。 9月の演習林実習にて、樹木を採取して樹木標本の制作をします。標本は、全員提出です。評価に大きく関わってきますので、頑張って取り組みましょう！																																																

学期	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学習活動（評価方法）
1 学期	第1章 森林と樹木 第1節 森林の定義と分類 第3 樹木の識別と日本の樹木	14 12	森林と樹木について理解するとともに、森林の定義やタイプ分け、樹木の形態や構造、整理特性について考え、森林や樹木の識別ができる基礎的知識を身に付ける。 樹木の各部の特徴をとらえて識別する方法を学ぶ。また、分類方法を学習し、それぞれの特徴を理解する。また、総合実習においてこれらの知識を利用して識別を実際に行う。	各単元の学習内容を、教室の中だけに存在する話題ではなく演習林実習の内容に落とし込むことで主体的にかかわる姿勢を持たせる。常に森林を意識しながら木材が利用されている場面を生徒自ら気付かせ、その内容を授業内容に取り入れ、最終的には森林科学のみならず、森林経営の分野に広がる問題解決能力を育てることを目指す。
2 学期	第3 樹木の識別と日本の樹木 ◆ 樹木標本の制作 第2節 樹木の特性 第3節 森林の立地環境	10 10 8	演習林実習において林内外の樹木を採取したものについて個々の樹木の属性や特徴を調べ、樹木標本を作成する。 森林を構成する樹木について、形態と内部構造及び樹冠構造と幹の成長について学ぶ。 自然の中での植物の生存には、気温や降水量、土壌、光などの環境因子が関係する。これらの環境因子について学び、地域に適応した植物分布について理解する。	【学習状況観察】 授業展開で、学習目標に対応した発言、技術を習得しようとしている。 【ノート・配付プリント】 毎回きちんと整理して記入されている。提出期限が守られている。 【定期考査】 指定された範囲の学習を行っている、授業内容を正確に理解し、知識として身につけている。 【自己評価】 自分の学習態度について適切に考察し、次回につなげるよう努力している。
3 学期	第6章 木材の収穫 第3節 伐採、造材、集材 第4節 労働安全	8 8	チェーンソーの免許取得に合わせて木材の伐採方法の基礎を学ぶ。 林業における労働災害は非常に多い。実習内でもどのようなことに気をつけなければならないか、過去の事例をもとに学習し、体系的に学ぶ。	【樹木標本】 標本が丁寧かつ適切に制作されている。また、提出期限が守られている。